

米国フロリダ州 農務省の柑橘類暫定見通しは厳しい

[FreshPlaza 2024年10月14日](#)

USDAはオレンジ生産量が減少するフロリダ州の厳しい柑橘類シーズンを予測

米国農務省(USDA)は、2024-25年度の柑橘類の収穫量に関する暫定見通しを発表し、フロリダ州の柑橘類生産者にとって厳しい時が待ち受けていることを示した。農務省の予測によると、オレンジは1,500万箱、グレープフルーツは140万箱、タンジェリンとタンジェロは20万箱の出荷が予測されている。この予測では、フロリダ州のオレンジ生産量は前シーズンの数値を約300万箱下回り、収量が減少する傾向が続いている。

フロリダ州柑橘類協会は、この予測に対して懸念を表明し、減少傾向を逆転させるための支援の必要性を強調した。同協会の副会長兼CEOであるマット・ジョイナー氏は、「今シーズンの予測に非常に落胆している」と述べた。同協会は、ハリケーンミルトンの影響とカンキツグリーンング病に対する継続的な闘いを強調し、ハリケーンの到来前には短期間ながら果樹園の状態について楽観的な見方があったことを指摘した。

オレンジの出荷量が2億4,400万箱に達した1990年代後半の業界のピークを思い起こすと、現在の出荷予測は過去の出荷量のはんの端数にすぎない。フロリダ州柑橘類協会のリリースは、このセクターの再生のための支援と研究が重要だとしている。最近のハリケーンやカンキツグリーンング病によってもたらされた課題にもかかわらず、ジョイナー氏はフロリダ州の柑橘類生産者の回復力を肯定し、回復と成長を促進するための支援の必要性を強調した。

出典: [Florida Politics](#)

米国 フロリダ州のハリケーン被害でオレンジ果汁先物価格が上昇

[FreshPlaza 2024年10月15日](#)

ハリケーンミルトンの余波を受けてフロリダ州のオレンジ生産量の減少が予想されることに影響され、オレンジ果汁先物は2日連続で上昇傾向にある。ハリケーンがフロリダ州の主要な柑橘類産地を通過したことで、大量の果実の損失と果樹への被害をもたらした。業界コンサルタントのジュディ・ゲインズ氏は、オレンジの損失を300万箱以上と推定し、フロリダ州の今季の収穫量は1920年代後半以来の最低になると予測している。

これらの状況を受けて、ニューヨーク市場のオレンジ果汁先物価格は最大3.3%上昇した。この急騰の前に、世界的な供給量の制約と最大のオレンジ果汁輸出国であるブラジルの深刻な干ばつにより、先月の価格は過去最高に達していた。フロリダ州は、米国の果汁用オレンジの生産量でトップクラスとして知られ、オレンジ全体の生産量ではカリフォルニア州に次いで第2位にランクされているが、既にカンキツグリーンング病と2年前のハリケーンイアンの影響による課題に直面していた。

最近のハリケーンとフロリダ州のオレンジ収穫量の期待を裏切る予測は、これらの課題を悪化させた。ハリケーンミルトンによる損害を評価する前に発表された米国農務省の2024/25年度の当初予測では、同州のオレンジ生産量は1933年以来最低の1,500万箱とされていた。農務省の報告書はさらに、作物の健康状態の重要な指標である果実のサイズが改善されていないことを強調している。カンキツグリーンング病はオレンジの小玉化につながることが多い。ゲインズ氏は、果実のサイズを改善し落果率を減らすという業界の期待が達成されなかったと指摘し、それは箱を満たすために必要な玉数が増えたことから明らかになっている。

出典: [BNN Bloomberg](#)